

若者・女性の県内定着・回帰に関する状況

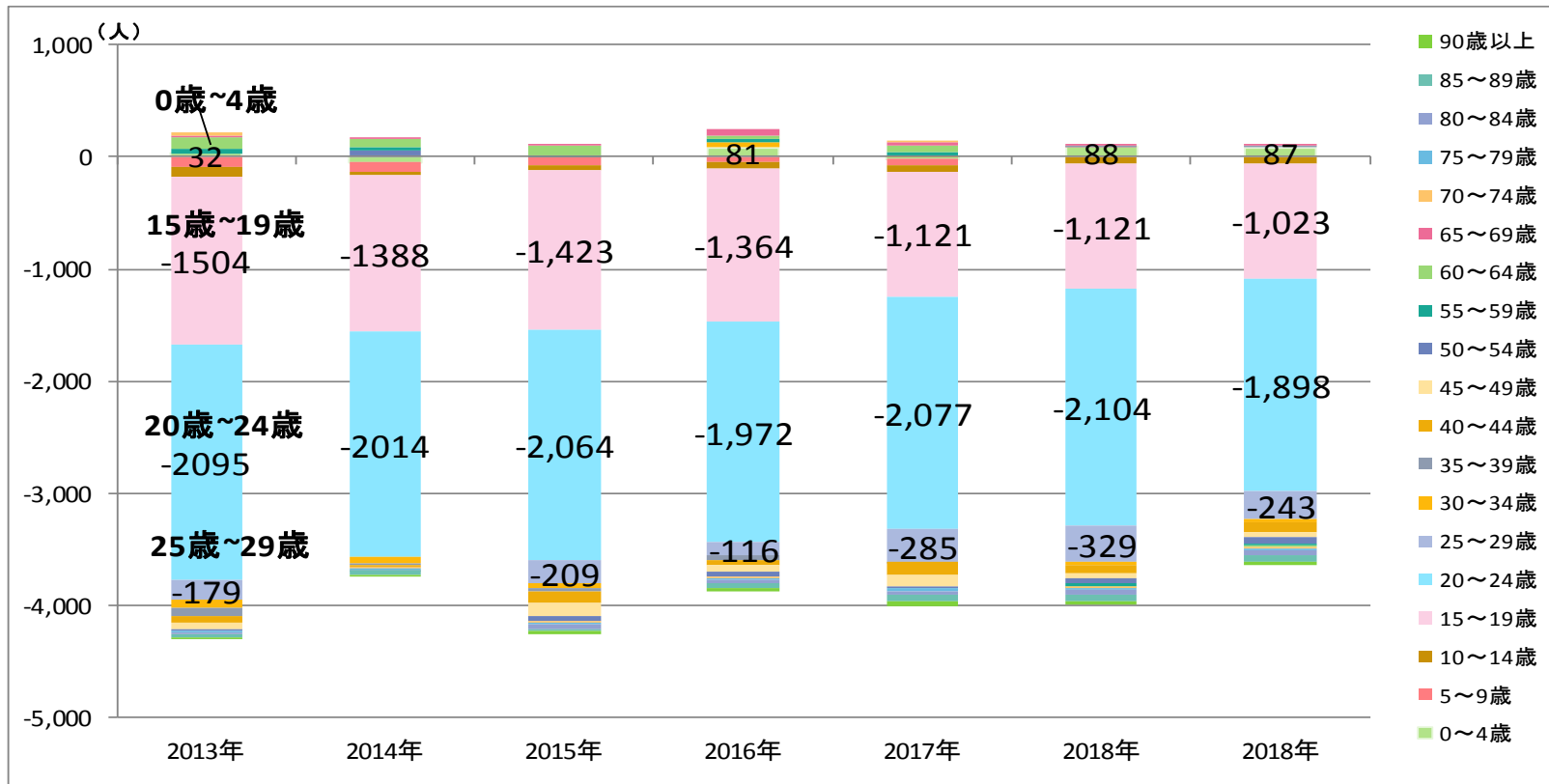
若者の社会移動の状況①

【年齢別県外転入・転出者数の状況】

- ・ 社会減（転入－転出）は、近年、3,500～4,000人台で推移
- ・ 県外転出者の約8割が15～24歳の若年層

[単位:人(日本人のみ)]

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
社会増減	△4,081	△3,573	△4,143	△3,639	△3,864	△3,882
うち15歳～24歳	△3,599	△3,402	△3,487	△3,336	△3,198	△3,225



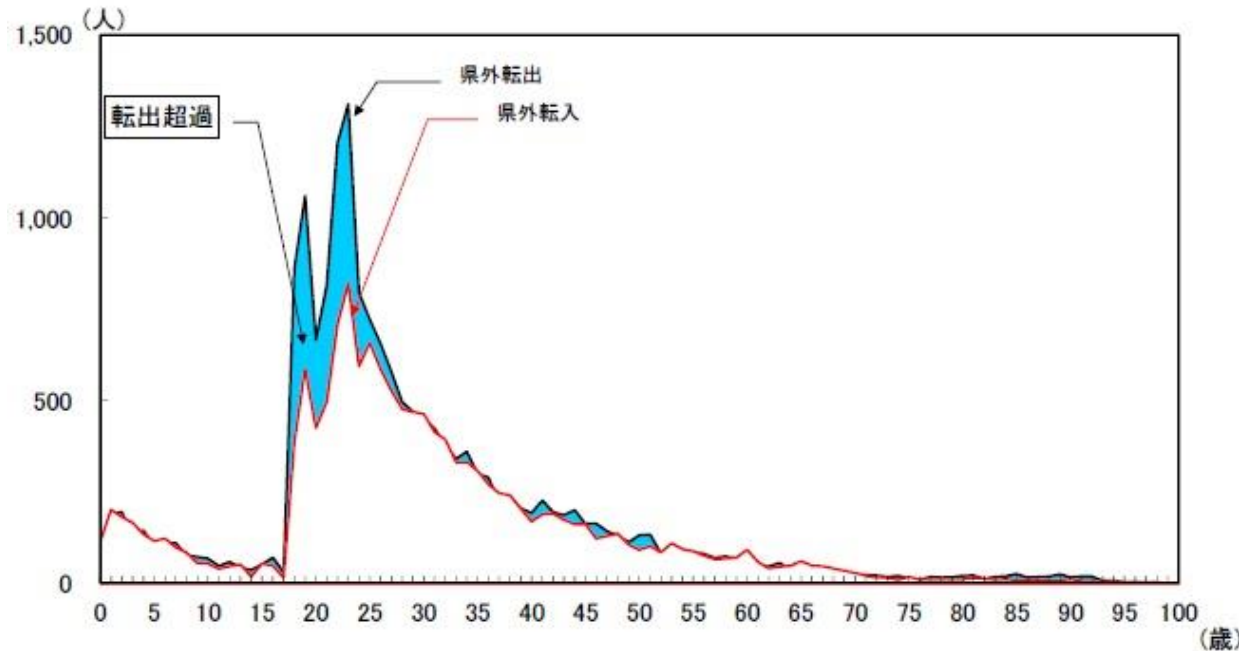
【出典】総務省「住民基本台帳人口移動報告」

若者の社会移動の状況②

【18~24歳の年齢別・男女別の社会移動の状況】

- 18~24歳の転出超過数（H29.10~30.9）は2,696人、うち男性1,123人、女性が1,573人
- 年齢別の転出超過数は、22歳の496人（男性178人、女性318人）が最も多く、次いで23歳の490人（男性226人、女性264人）、18歳の476人（214人、女性262人）

年齢別県外転入・転出者数（平成29年10月～30年9月）



年齢	計	男	女
18歳	△476	△214	△262
19歳	△473	△222	△251
20歳	△241	△60	△181
21歳	△319	△85	△234
22歳	△496	△178	△318
23歳	△490	△226	△264
24歳	△201	△138	△63
計	△2,696	△1,123	△1,573

県内就職に関する状況①

【高校生の県内就職状況】

- ・ 県内高校卒業者の県内就職率は約8割程度。
- ・ 県内高校卒業者（H31.3卒）のうち就職者数：2,933人、うち県内就職2,285人（77.9%）

区 分	卒業生数	就職者総数		就 職 率		(全国)	
			うち県内 就職者		県 内 就職率	就職率	県 内 就職率
平成22年3月	11,728	2,932	2,094	25.0	71.4	15.8	80.4
平成23年3月	11,254	2,908	2,201	25.8	75.7	16.3	81.0
平成24年3月	10,901	2,842	2,182	26.1	76.8	16.8	81.4
平成25年3月	11,176	3,155	2,442	28.2	77.4	17.0	82.0
平成26年3月	10,553	3,128	2,414	29.6	77.2	17.5	82.1
平成27年3月	10,632	3,134	2,443	29.5	78.0	17.8	81.6
平成28年3月	10,204	3,038	2,352	29.8	77.4	17.9	81.3
平成29年3月	10,073	2,891	2,250	28.7	77.8	17.8	81.2
平成30年3月	9,943	2,994	2,290	30.1	76.5	17.6	81.1
平成31年3月	9,849	2,933	2,285	29.8	77.9	17.7	80.6

【出典】山形県企画振興部企画調整課作成資料／データ元：文科省「学校基本調査」

県内就職に関する状況②

【大学生の県内就職状況】

- ・ 県内大学卒業者の県内就職率は3割程度で推移。
- ・ 県内大学卒業者（H31.3卒）のうち就職者数：1,870人、うち県内就職 546人（29.2%）

区 分	卒業生数	就職者総数		
			うち県内 就職者数	県内 就職率
平成23年3月	2,524	1,536	553	36.0%
平成24年3月	2,404	1,488	530	35.6%
平成25年3月	2,431	1,564	511	32.7%
平成26年3月	2,527	1,688	543	32.2%
平成27年3月	2,548	1,769	572	32.3%
平成28年3月	2,500	1,849	585	31.6%
平成29年3月	2,526	1,830	560	30.6%
平成30年3月	2,550	1,905	591	31.0%
平成31年3月	2,525	1,870	546	29.2%

【出典】山形県企画振興部企画調整課作成資料／データ元：文科省「学校基本調査」

大学生の就職に対する意識①

【企業選択のポイント（文理・男女別）】

- ・大学生は就職希望企業を選択する際、「安定している会社」（回答者全体の39.6%）や「やりたい仕事ができる会社」（35.7%）を重視

男女別、文系・理系別の企業選択のポイント

◆「安定している会社」の重視度合

文系男子(44.6%) > 理系男子(43.5%) > 文系女子(33.9%) > 理系女子(33.3%)

◆「やりたい仕事ができる会社」の重視度合

理系女子(42.4%) > 文系女子(37.5%) > 理系男子(35.5%) > 文系男子(31.2%)

◆「勤務制度、福利厚生の良い会社」の重視度合

理系女子(18.0%) > 文系女子(16.4%) > 理系男子(9.9%) > 文系男子(9.5%)

大学生の就職に対する意識②

【志望職種（文理・男女別）】

- ・大学生の志望職種として、「営業企画・営業部門」（24.3%）が最も多く、次いで「商品企画・開発・設計部門」（16.0%）、「総務・経理・人事などの管理部門」（15.1%）。

男女別、文系・理系別の志望職種

◆営業企画・営業部門

文系男子(42.0%) > 文系女子(25.2%) > 理系女子(9.3%) > 理系男子(8.5%)

◆商品企画・開発・設計部門

理系女子(25.4%) > 理系男子(17.0%) > 文系女子(15.6%) > 文系男子(11.8%)

◆総務・経理・人事などの管理部門

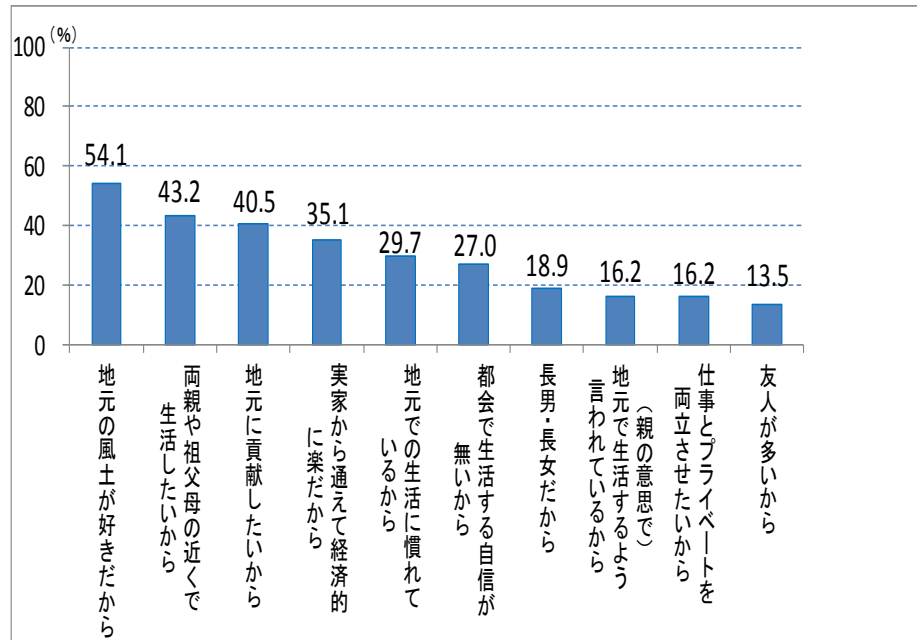
文系女子(23.5%) > 文系男子(19.5%) > 理系女子(5.3%) > 理系男子(3.9%)

大学生の就職に対する意識③ 《参考》

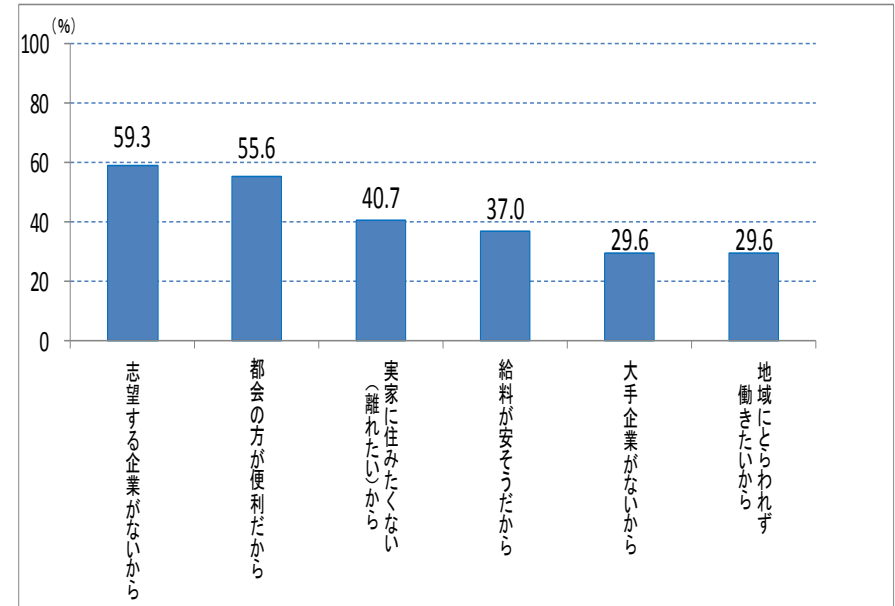
【県内就職に対する考え方】

- ・ 本県出身大学生68人中、県内就職希望は37人（54.4%）。進学先別では、県内進学者20名中14名（70%）、県外進学者48名中23名（48%）が県内就職希望
- ・ 県内就職希望の理由で最多は「地元の風土が好きだから」（54.1%）、県内就職を希望しない理由で最多は「志望する企業がないから」（59.3%）

県内就職を希望する理由（山形県）



県内就職を希望しない理由（山形県）



【出典】山形県企画振興部企画調整課作成資料／データ元：マイナビ「2020年卒大学生Uターン・地元就職に関する調査」